徳島新聞　平成24年2月19日〈日〉

専門医9人が最新治療紹介

徳島市内

徳大病院フォーラム

市民公開講座「徳島大学病院フォーラム2012春～心臓血管病とがん」（同大病院主催、徳島新聞社共催）が18日、徳島市のあわぎんホールであった。専門医9人が最新治療や早期発見のヒントなどを紹介し、約800人が熱心に耳を傾けた。

同病院循環器内科の若槻哲三副科長は狭心症や心筋梗塞のカテーテル治療について、約2㍉の細い管を血管に挿入して遠隔操作で治療するため、体への負担が少ないことを紹介。「医療の進歩でカテーテルがさらに細くなり、負担もより軽減される」「1分1秒を争う治療が可能で、急性心筋梗塞に威力を発揮する」などの利点を話した。

消化器・移植外科の宇都宮徹副科長は「膵臓がんは初期症状や特有の症状がなく早期発見が難しい」と説明。その上で、症状や治療方針を理解し、がんセンターなどの情報源を有効に利用することが大切と強調した。

このほか、大動脈瘤や食道がんの最新治療などの講演もあった。

（大塚康代）